

基本事業評価シート (主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		16010001		担当課所名		環境部(旧水道部 広域化準備室)		評価実施日		平成28年 5月1日	
基本事業名		秩父地域水道広域化事業									
総合振興計画の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」								
	政 策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり								
	施 策	2	上水道の整備							総合振興計画	71

基本事業の概要	人口減少(収入の減少)や老朽化した施設等の更新(費用の増加)などの諸問題を解決する、手段として秩父地域の4水道事業を統合し広域化する。平成28年度の秩父広域市町村組合による共同処理に伴い、平成28年度以降に係る項目については空欄としている。
---------	--

対 象	秩父地域の4水道事業者
意 図 (対象をどのようにしたいか)	水道事業を統合し、広域化する。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
広域化に向けた進捗	進捗/統合	%	100.	100.	100.		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆										
枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)			指 標			27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト・成果	重点化
				事業費(円)			実績値(下段)			
				26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額				
01	広域化推進事業			指標 進捗率			20.	%	D	
					7,500,201	1,570,614	20.			
02	広域化準備事業			指標 進捗率			80.	%	D	
					0	94,640,324	80.			
03				指標						
04				指標						
05				指標						
06				指標						
07				指標						
08				指標						
09				指標						
10				指標						
11				指標						
12				指標						
13				指標						
14	基本構想(ビジョン)・基本計画策定事業			指標						
					12,528,000					
(参考) 最終予算額(円)					21,666,000	109,706,000				
事業費の合計(円) (A)					20,028,201	96,210,938	0			
		財源内訳	国庫支出金							
			県支出金							
			地方債							
			その他特定							
			一般財源	20,028,201	96,210,938		0			
		正規職員	業務量	2.00人	1.27人					
		臨時職員 (事業費に含む)	人件費(B)	11,765,622	15,393,005					
			業務量							
			人件費							
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)					31,793,823	111,603,943				

【重点化欄】

◎：評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○：重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 広域化推進事業は7月に、広域化準備事業は年度内に完了し、進捗状況は目標値の100%を達成することができた。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 現状の分析、将来予測や計画を立て、広域化の優位性を確認された。広域化に向かい統合したらどのようにする（なる）など事務のすり合わせも平行して行う。広域化が決定された後、年度内は準備作業を行い、平成28年4月1日の事業開始できるよう進める必要があった。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 秩父地域の水道広域化は総務省の推進する、定住自立圏構想の中に位置付けられている。中心市宣言を行っている秩父市が近隣町と協力して事業実施することは妥当であり、また、広域化準備室の設置に当たり各町にも同意を得ている。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）



Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）			
予 算 を 伴 わ ない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) すり合わせが必要な事務事業の洗い出しを行い、早期に解決に向かうよう事務担当者レベル(各専門部会)の打ち合わせを蜜に行う。 広域化前に解決すべきもの、広域化後に解決すべきものなどの仕分けを行い、すり合わせを行った。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
予 算 を 伴 う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			

基本事業執行責任者 （担当課長名）	高野 明生	電話番号 0494-25-5221
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード		16020001	担当課所名		環境部(旧水道部 業務課)	評価実施日	平成28年 5月1日		
基本事業名		水道営業事業							
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」						
	政 策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり						
	施 策	2	上水道の整備				総合振興計画	71	ページ

基本事業の概要	水道事業の円滑な運営を行うため、水道使用料の適切な検針、調定、収納の確保を図る。また、情報収集や適正な経理、出納、庶務事務を行い、公営企業の健全経営に努める。平成28年度の秩父広域市町村組合による共同処理に伴い、平成28年度以降に係る項目については空欄としている。
---------	--

対 象	水道部及び水道使用者
意 図 (対象をどのようにしたいか)	水道事業の円滑な運営を行うため、水道料金の収納率の向上を図る。委託料等の経費削減を図り、営業利益率の向上に努め、企業の健全経営を行う。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
営業利益率	営業利益/営業収益	%	10.5	11.5	21.3		10.1%(H25年度県内平均)

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆							
枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)	指 標		27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重 点 化
		事 業 費 (円)		実績値(下段)			
		26年度決算額	27年度決算額				
01	水道料金収納事務	指標 水道料金収納率	98.5		%	A	
		27,603,154	27,962,196	97.77			
02	水道料金の包括的業務委託事業	指標 水道料金に関するクレーム件数	0.		件	A	
		46,267,200	46,267,200	74.			
03	予算、決算、経理、総務事務事業	指標 -	-			A	
		1,401,120	1,401,120	-			
04	経営改善事業	指標 研修・会議の参加回数	1.		回	A	
		1,522,800	206,468,800	1.			
05		指標					
06		指標					
07		指標					
08		指標					
09		指標					
10		指標					
11		指標					
12		指標					
13		指標					
14		指標					

(参考) 最終予算額(円)		77,222,000	282,407,000
事業費の合計(円) (A)		76,794,274	282,099,316
財 源 内 訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定一般財源	76,794,274	282,099,316
正 規 職 員	業務量	5.33人	
	人件費(B)	6,060,238	
臨 時 職 員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		76,794,274	288,159,554

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡 充	×	C, B	B, C	C
	維 持	×	B	A	×
	縮 小	×	C	×	×
	休 廃 止	D	×	×	×
	皆 減 縮 小 維 持 拡 大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 基本事業の意図、指標、目標は概ね妥当であると考えられる。なお、指標については、埼玉県の水道事業を調査し平成25年度の平均値は10.2%となっており、平成27年度決算では21.3%と大幅に上回る事ができた。年々給水人口の減少や節水型社会への移行により使用水量が減少しており、給水収益の減少が見込まれるため、計画的に施設の更新を進めるために財政計画の検討を続けていきたい。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 平成26年10月に料金改定を行い、指標実績値に対して改善が見られた。今年度決算もその影響が見込まれるが、得られる収益を有効に利用し、さらなる経営の改善に努めたい。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 水道事業は、今のところ全国的に地方公共団体で行っており、公営企業としての実施は妥当である。電気、通信、ガス事業が民間事業であるように水道事業は行政の中では最も民業に近い。保有資産の更新に多額の費用を要す点、安定的な給水の観点からは、現状では完全民業は現実的ではないが、可能な部分は公立民営的経営化を進める必要がある。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			予算について、算定根拠の見直しを行い、必要経費以上の不用品額の減額に努めるとともに、収益に関しても過剰とならないように算定方法の見直しを図り、正確に収支のバランスを見込み、財政計画に反映させる。 必要な財源を試算し適切な財政計画のもと事業を進め、経営指標を活用し経営の分析を行った。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			平成28年4月の広域化に向けて、組織や施設の統合を具体的に把握し、固定費の削減に努めたい。また、業務の統合について、業務委託の有効性を検証し、業務分担を進めるとともに、包括業務委託の拡充を図り、経費削減に努める。 平成28年4月広域化がスタートし、包括的業務委託の複数年契約が実施されコスト削減がはかれた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			統合後5年間のうちに統合した市、町の水道事業の水料金体系を統一するため、施設の更新・維持費等と給水収益を比較、検証して財政計画を策定する。 秩父地域水道事業広域化基本計画に基づき、財政計画を策定し、各水道事業の料金を5年以内に統一する。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	高野 明生	電話番号 0494-25-5221
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	16030001	担当課所名	環境部(旧水道部 工務課)	評価実施日	平成28年 5月1日
基本事業名	水道施設更新事業				
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」		
	政 策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり		
	施 策	2	上水道の整備		
			総合振興計画	71	ページ

基本事業の概要	送配水管等の布設及び布設替工事を実施することで、安定給水の確保とバックアップ体制を構築する。また、水道管路データを的確にシステムで管理し、的確な情報を提供する。平成28年度の秩父広域市町村組合による共同処理に伴い、平成28年度以降に係る項目については空欄としている。				
---------	---	--	--	--	--

対 象	水道使用者
意 図 (対象をどのようにしたいか)	安全な水を安定して給水する。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
送配水管及び布設替工事の実施延長	工事延長	m	5,025.	4,776.	6,303.		
鉛製給水管更新率	布設替件数／全体計画件数	%	76.6	79.	82.		
システム検索による窓口対応時間の短縮	窓口対応時間	分	10.	10.	10.		
石綿セメント管更新率	布設替延長／全体計画延長	%	61.5	63.2	63.4		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆								
枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)	指 標			27年度 目標値(上段)	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額				
01	送配水管更新事業	指標 工事実施延長			4,776.	m	B	
		358,438,000	533,723,472		6,303.			
02	鉛給水管布設替事業	指標 布設替え実施件数			30.	件	A	
		5,396,760	5,436,720		61.			
03	水道施設情報管理事業	指標 データ更新率			100.	%	A	
		6,139,800	59,580,360		100.			
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 462,845,000 637,564,000

事業費の合計(円) (A) 369,974,560 598,740,552 0

財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定		
	一般財源	369,974,560	598,740,552
	業務量	7.00人	7.00人
正規職員	人件費(B)	41,179,677	42,421,666
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 411,154,237 641,162,218

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡 充	×	C, B	B, C	C
	維 持	×	C	A	×
	縮 小	×	B	×	×
	休 廃 止	D	×	×	×
	皆 減 縮 小 維 持 拡 大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？安全な水を安定給水する事が、本事業の目的であり、意図、設定は適切である。また、指標として「鉛製給水管及び石綿セメント管の更新率」を設定しており、コスト削減により目標値より高い実績をあげることができた。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。）本事業については、老朽管の布設替工事等であるので、本事業の目的である「安全な水を安定給水する。」を目指し、今後も継続して事業を推進する事が重要である。枝番号03の水道施設情報管理事業については、管路情報をGIS化したことで、お客様に対して窓口等での相談を効率的に行うことができる。データの更新作業は毎年行っており、特に問題はない。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？枝番号01・02事業については、設計業務を職員が行っている。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			広域化に向けて、老朽化した水道管の更新実施計画を作成し効率的な更新工事が実施できるように努める。 広域化基本計画に基づく新たな事業に併せた、老朽管更新計画の策定が出来た。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			秩父地域水道広域化の進捗状況により、今後の更新事業の実施に繋がる。また、広域化による配水管路の廃止や縮径などの更新工事業費の縮減に努めたい。 秩父地域水道広域化を実現したことより、今後の更新事業の計画的な実施に繋がった。また、将来計画による更新管路のダウンサイジングなどの更新計画の見直しが出来た。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			施設更新計画に基づく事業、A・Bルート・老朽管の布設替えを計画的に実施することにより、配水管の耐震化、老朽管の更新と秩父地域水道広域化を重点に進めたい。 秩父地域水道広域化の実現が出来たことにより、耐震基幹管路整備や老朽管路更新が補助対象事業となり、基本計画に基づく事業を進めることが出来た。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	高野 明生	電話番号 0494-25-5221
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード		16030002	担当課所名		環境部(旧水道部 工務課)	評価実施日	平成28年 5月1日	
基本事業名		漏水対策事業						
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」					
	政 策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり					
	施 策	2	上水道の整備				総合振興計画	71

基本事業の概要	安定した水の供給を続けるため、漏水調査による漏水の早期発見と修繕及び水道管破損時の緊急の復旧作業を行い、有収率の向上を図りたい。平成28年度の秩父広域市町村組合による共同処理に伴い、平成28年度以降に係る項目については空欄としている。
---------	---

対 象	漏水箇所
意 図 (対象をどのようにしたいか)	早期発見、修繕することで有収率の向上を図る。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
有収率	有収率/送配水量	%	69.7	85.	73.5		
漏水調査による漏水箇所発見件数		件	317.	-	288.		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆								
枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額				
01	緊急漏水修繕事業	指標 漏水修繕件数	-			件	A	
		50,450,820	61,050,032		631.			
02	漏水調査業務委託事業	指標 漏水調査延長	380.			km	A	
		20,520,000	21,600,000		380.			
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)

79,425,000 91,100,000

事業費の合計(円) (A)

70,970,820 82,650,032

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	70,970,820	82,650,032	0
正規職員	業務量	3.80人	3.80人	
	人件費(B)	22,354,682	23,028,904	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		93,325,502	105,678,936	

成果の方向性	拡 充	×	C, B	B, C	C
	維 持	×	B	A	×
	縮 小	×	C	×	×
	休 廃 止	D	×	×	×
		皆 減 縮 小 維 持 拡 大 コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は、配給水管の漏水を調査・修繕し、有収率の向上及び水道水の安定供給を図ることが目的であり、有収率を基本事業指標に設定した。26年度から27年度にかけての有収率は3.8%増加したが、目標値を達成できなかった。今後も、有収率の向上及び水道水の安定供給を図るため努力したい。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） この事業を推進することにより、有収率を向上させ結果的に水道水の安定供給が図られる。また、地中漏水箇所を調査委託により早期発見することで、さらに有収率を向上させることができるため、今後も継続して事業を進めていく必要がある。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 緊急漏水修繕の対応は、工務課職員が断水広報及び給水車による給水活動を行い、当番の市内指定工事業者へ復旧作業を依頼し、早急な対応ができる体制が整えられている。漏水調査業務は外部へ委託し実施している。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			配水本管及び給水管の漏水多発箇所、路線を優先的に布設替えは当然であるが、漏水調査業務委託を引き続き通年実施することにより、漏水箇所の発見を早めることができ、有収率の向上に繋げる。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		配水本管及び給水管の漏水多発箇所、路線を優先的に布設替えし、漏水調査業務委託を引き続き通年実施したことにより、漏水箇所の発見を早めることができ、有収率の向上に繋げる事が出来た。
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			漏水箇所多発路線を特定するため、水道施設情報管理システムを利用し、過去の漏水状況を集計できるようデータ化して更新管路の特定をする。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		漏水箇所多発路線を特定し、水道施設情報管理システムを利用し、過去の漏水状況を集計できるようデータ化して更新管路計画書の作成ができた。
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			漏水緊急修繕業務と漏水調査業務を包括的に外部委託することにより、漏水の修繕が早期に行うことができ、有収率が向上する。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		漏水緊急修繕業務と漏水調査業務を包括的に外部委託するために工事店組合との協議を重ねた結果、今後の方向性が確認できた。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	高野 明生	電話番号 0494-25-5221
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード		16040001	担当課所名		環境部(旧水道部 浄水課)	評価実施日	平成28年 5月1日	
基本事業名		水道施設維持管理委託事業						
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」					
	政 策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり					
	施 策	2	上水道の整備				総合振興計画	71

基本事業の概要	水道施設の維持管理を計画的に委託することにより、水道施設を効率よく且つ安全に運転管理するとともに必要な点検整備を行う。平成28年度の秩父広域市町村組合による共同処理に伴い、平成28年度以降に係る項目については空欄としている。
---------	--

対 象	水道水利用者
意 図 (対象をどのようにしたいか)	水道水を給水区域内の需要に対応した水量を、水質基準に適合した水質と、所要の水圧をもって供給する。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
浄水場稼働停止日数		日	0.	0.	0.		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆								
枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)	指 標			27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重 点 化
		事 業 費 (円)			目標値(上段) 実績値(下段)			
		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額				
01	環境整備委託事業	指標 浄水場可動日数			366	日	A	
		62,573,206	66,056,331		366			
02	監視・整備委託事業	指標 無事故日数			366	日	A	
		13,091,551	16,238,042		366			
03	機器点検整備委託事業	指標 機器点検数			107	件	B	
		10,261,368	9,609,327		107			
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最 終 予 算 額 (円)		100,195,000	93,560,000	
事 業 費 の 合 計 (円) (A)		85,926,125	91,903,700	0
財 源 内 訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	85,926,125	91,903,700	0
正規職員	業 務 量	3.60人	3.60人	
	人 件 費 (B)	21,178,120	21,816,857	
臨時職員 (事業費に含む)	業 務 量			
	人 件 費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		107,104,245	113,720,557	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡 充	×	C, B	B, C	C
	維 持	×	B	A	×
	縮 小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆 減 縮 小 維 持 拡 大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 水道水需要者に安心・安全な水道水を安定的に供給するために必要な施設の維持管理委託を目的としており、基本事業指標を浄水場稼働日数と設定した。目標値に対して、実績値も達成していることから、日々の維持管理委託が適切であり、水道水が安定的に供給できている事が確認できるため適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 水道施設の安全・安定稼働を確保するために、整備委託・監視・警備委託及び機器点検委託事業を実施することから必要不可欠な事業であり、妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 水質検査については水道法20条の厚生労働大臣登録検査機関に委託し、機器・点検等については水道施設及び機器を熟知している業者を選定し見積・指名競争入札で契約している。なお、管理については仕様書により職員が現場確認を行い、管理・監督を実施しているので妥当である。

◆改善提案◆ （事中評価の際の改善提案を含む）



Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			昨年度同様にマニュアルの確認、更新を実施する。 マニュアルの作成により職員間で情報の共有、継承が出来ている。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			広域化維持管理部会で引き続き、各事業体との調整をおこなう。 広域化になってからも、統一していくべき内容があるため、引き続き調整を行っている。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			業務の効率化経費削減を進めるために、水道の広域化を見据えた包括委託、部分委託について浄水場施設の運転監視等の検討をおこなう。 他団体の委託発注状況を確認した。事業体にあった発注形態を検討していく。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	高野 明生	電話番号 0494-25-5221
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	16040002	担当課所名	環境部(旧水道部 浄水課)	評価実施日	平成28年 5月1日
基本事業名	水道施設維持管理事業				
総合振興計画	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」		
	政 策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり		
	施 策	2	上水道の整備		
			総合振興計画	71	ページ

基本事業の概要	水道施設の維持管理を計画的に整備することにより、水道施設を効率よく且つ安全に運営管理するとともに必要な点検・整備・改修・工事等を行う。平成28年度の秩父広域市町村組合による共同処理に伴い、平成28年度以降に係る項目については空欄としている。
---------	--

対 象	水道水利用者
意 図 (対象をどのようにしたいか)	水道水を給水区域内の需要に対応した水量を水質基準に適合した水質と、所要の水圧をもって供給する。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
施設故障による浄水場停止日数		日	0.	0.	0.		

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆								
枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)	指 標			27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)		実績値(下段)				
		26年度決算額	27年度決算額		28年度予算額			
01	橋立浄水場施設維持管理事業「平成26年度から継続事業」	指標 工事件数			1.	件	A	
		626,132,760	11,137,000		1.			
02	別所浄水場施設維持管理事業	指標 工事件数			8.	件	A	
		121,716,000	285,487,200		8.			
03	高篠浄水場施設維持管理事業	指標 工事件数			0.	件	A	
		1,960,760	0		0.			
04	大滝・荒川事務所(大滝)施設維持管理事業	指標 工事件数			2.	件	A	
		12,452,400	55,004,400		2.			
05	大滝・荒川事務所(荒川)施設維持管理事業	指標 工事件数			1.	件	A	
		0	12,960,000		1.			
06	吉田事務所施設維持管理事業	指標 工事件数			3.	件	A	
		0	21,492,000		3.			
07	旧秩父市地区浄水場施設修繕事業	指標 不具合当年度中再発件数			0.	件	A	
		26,426,906	23,791,099		0.			
08	大滝・荒川地区浄水場施設修繕事業	指標 不具合当年度中再発件数			0.	件	A	
		5,277,270	528,981		0.			
09	吉田地区浄水場施設修繕事業	指標 不具合当年度中再発件数			0.	件	A	
		4,394,423	2,746,386		9.			
10	工事監理等業務委託事業	指標 業務委託件数			3.	件	A	
		39,090,000	13,290,480		3.			
11	大谷日向・南浄水場施設維持管理事業	指標 工事件数			1.	件	A	
		4,516,000	2,073,600		1.			
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 912,835,000 429,048,000

事業費の合計(円) (A) 841,966,519 428,511,146 0

財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 其他特定 一般財源 841,966,519 428,511,146 0

正規職員 業務量 5.90人 5.90人

人件費(B) 34,708,585 35,755,404

臨時職員 業務量

人件費

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 876,675,104 464,266,550

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減縮小維持拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は、水道水需要者に安心・安全な水道水を安定的に供給するために施設の維持管理を目的としており、基本事業指標を施設の故障等による浄水場からの送水停止日数を設定した。目標値に対して、実績値も達成していることから、日々の維持管理及び更新工事が適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 各浄水場系の施設の修繕・工事を実施する事で、浄水場の安定した稼働を実現するもので、妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 浄水施設の修繕・改修工事は水道部で管理・実施している。その中で旧秩父地区・吉田地区・大滝荒川地区と管理区域があり、実施主体は妥当ではある。ただし今後は設計施工管理を委託する事も含めて検討する必要がある。

◆改善提案◆ （事中評価の際の改善提案を含む）



Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			天日乾燥池の機能改善を図り、浄水汚泥の低減化が実現できたため、効率的運用方法を模索し、費用削減を行なう。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		ろ過槽の構造上、目詰まりが発生するため、数回、砂面の掘り起し等実施し、汚泥の濃縮が出来た。今後は定期的に砂面の掘り起しを実施する必要があることが分かった。
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			平成26年度に実施した、天日乾燥池の機能改善が図られた事により、汚泥処理について、今後天日乾燥池の増設を行なうのか、汚泥処理設備を新たに設けるのか、広域化を見据えて具体的計画をたてる。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		天日乾燥池になると、別所浄水場の処理能力から考え、広大な敷地が必要となるため、汚泥処理設備を検討していく。
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			橋立・別所・高篠改修工事実施計画を策定し、中長期的な改修計画のもと、事業を円滑に進める。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		実施計画に基づき実施設計にはいる。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	高野 明生	電話番号 0494-25-5221
----------------------	-------	----------------------